



11月ピッコロだより

【11月の活動】 秋を探そう / みんなで協力しよう / ルール活動



月	火	水	木	金	土
【中学生の活動】 11/8 :ソーシャルメディアとの賢い関わり方を知ろう！ 11/22 :水族館へいこう！					1 ルール活動 
3 文化の日	4 ルール活動 	5 みんなで協力しよう 	6 ルール活動 	7 みんなで協力しよう 	8 みんなで協力しよう 
10 みんなで協力しよう 	11 みんなで協力しよう 	12 ルール活動 	13 みんなで協力しよう 	14 ルール活動 	15 秋を探そう 
17 秋を探そう 	18 買い物活動 	19 秋を探そう 	20 身体を動かそう 	21 秋を探そう 	22 秋を探そう 
24 振替休日	25 秋を探そう 	26 身体を動かそう 	27 秋を探そう 	28 買い物活動 	29 身体を動かそう 

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本):1日(土)、12日(水)

言語聴覚士(永山):6日(木)、10日(月)、13日(木)、18日(火)、26日(水)、28日(金)

理学療法士(樋口):4日(火)、17日(月)、20日(木)、29日(土)

作業療法士(大平):5日(水)、15日(土)、21日(金)、27日(木)



今月の主な活動:秋を探そう/みんなで協力しよう/ルール活動

- < 秋を探そう > 近隣を散策し、自然に触れながら季節の移りを感じるとともに、気づいたことや発見したことをみんなに共有します。
 < みんなで協力しよう > 自分の意見を伝えつつ、相手の話を聞いて意見を合わせながら、同じ目標を達成するための機会をつくれます。
 併せて、相手の立場に自身を置き換えて考えることや分かりやすく伝える意欲を高めます。
 < ルール活動 > 活動を通してルールや約束事が設定されている理由を考えることで、必要性を確認し、集団遊びを楽しみながらルールを守る力や協調性を育みます。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前) 10 時～10 時 20 分まで、(午後) 13 時 30 分～13 時 50 分までにお願ひします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時 00 分の間、土曜日(午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願ひ致します。

[キャンセル待ちについて]

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

[欠席連絡について]

- ・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後) 13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥70/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡をお願いします。
- また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
- ※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。

[利用料のお支払いについてのお願い]

- ・いつも事業所の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
- 利用料のお支払いにつきまして、スムーズな対応のため、できるだけお釣りのないようご準備いただけますようお願い致します。



初めまして、5月から入職しました、理学療法士の宮崎佑斗です。主にゆうひが丘、よしのが丘、ラソンの事業所を担当しています。今日はこどもたちと関わる中での気づきや理学療法士としての視点を踏まえ、運動発達についてお話をさせていただきます。

私はこれまで病院でリハビリの仕事をしていましたので、最初は発達支援の現場でのこどもたちへの接し方に迷うことも多くありました。しかし、徐々に”大人が一緒になって楽しむこと、本気で楽しむこと”が大切であると気づき、そこから少しずつこどもたちの笑顔も増えてきたように感じます。さて、運動発達の話に移りますが、こどもたちは心身の発達とともに、日常生活の中でさまざまな動きを経験することで運動を学習していきます。どんな動きでも運動の経験になり、「その動きをたくさん経験すること」「その動きを楽しいと思えること」で運動学習がより促されていきます。人や物への興味・関心も動きたいと思う大きなエネルギーになります。このようにしてこどもたちは多くの動きのデータを蓄え、誤差を修正しながらよりよい運動を獲得していきます。成功だけでなくたくさんの失敗のデータも必要ですので、こどもが”失敗しても大丈夫”と思えるような安心できる環境や雰囲気を作りたいものです。そして成功・失敗にかかわらず、小さな変化、挑戦などをたくさんほめてあげましょう。ほめられることやこども自身が「できた」と感じる喜びは次の挑戦につながり、運動は強化され、定着していきます。

私自身、2歳の息子の子育てに日々奮闘しております。家庭ではこどもと一緒に家事をすること、些細なことでもほめることを心がけています。一緒に楽しく取り組みればこどもにとってはあそびとなり、良い運動経験、生活経験になると思います。事業所でも身支度、お手伝いなどすべての場面で運動発達を支援する場面としてかかわっています。忙しい日々ですが、生活の中に遊びを取り入れながらこどもと一緒に楽しみましょう。今後ともよろしくお願い致します。



理学療法士
宮崎 佑斗

